

秋の夜長は、 本とともに…



としょかんライオン
ミシェル・ヌードセン 作
ケビン・ホークス 絵
福本友美子 訳 (岩崎書店)
図書館は、まちの人々が、本を読んだり、借りたりするところ。図書館には誰でも入れます。そんなある日、図書館にライオンがやってきた。

かわいいサルマ
ニキ・ダリー 作
さくまゆみこ 訳 (光村教育図書)
大好きなおばあちゃんに頼まれて、サルマはお使いに出掛けます。真つすぐ行って真つすぐ帰るのよ、ところが…。

宇宙への秘密の鍵
ルーシー&スティーヴン・ホーキング 作
さくま ゆみこ 訳 (岩崎書店)
あのホーキング博士が、子どものために書いたスペースアドベンチャー。物語の力で「科学する心」を育てる画期的な本。

金色の野辺に唄う
あさのあつこ 著 (小学館)
山陰の静かな山あいの町で、老女・松恵が息を引き取ろうとしていた。屈託や業を抱えながらも、誰かとながりに共に生き抜いていくことの喜びを、晩秋の美しい風景の中に力強く描き出した連続短編集。

大人になる前に身につけてほしいこと
坂東眞理子 著 (PHP研究所)
友達付き合いのルール。すてきな大人になるコツ、自分を守る知恵、学びの習慣…。大切なあなたに伝えておきたい50のこと。

「2°Cの違い」を知る絵本
佐伯平二 文
おおの麻里 イラスト (青春出版社)
地球の平均気温がたった2度違うだけでどんなことが起こるのか、温暖化が進むとどうなるか、絵で分かりやすく教えてくれます。

深まりゆく秋、野山はすっかり秋色に変化しています。さて皆さん、読書をするには絶好の季節となりました。自分のお気に入りの一冊を持って、お気に入りの場所で、心にとっぷり本という栄養を補給しましょう。さあ、気に入った本を探しに、どうぞ図書館へお越しください。いつでも、皆さんをお待ちしています。

**読書活動推進大会を
開催します。**

【スローガン】読書で創ろう豊かな感性と思いやりの心を

【時】11月22日(土) 13時30分～16時

【所】樋脇保健センター

【内容】読書グループなどの紙芝居や読み聞かせ(巻き絵など)の実演 ほか

【入場料】無料

【問合せ】中央図書館

各図書館にお越しく下さい。

中央図書館	☎ 0996(22)3542	図書館祁答院分館	☎ 0996(55)1111
図書館樋脇分館	☎ 0996(38)0009	図書館里分館	☎ 09969(3)2958
図書館入来分館	☎ 0996(44)3111	図書館上飯分館	☎ 09969(2)0001
図書館東郷分館	☎ 0996(42)0053	図書館下飯分館	☎ 09969(7)0390
		図書館鹿島分館	☎ 09969(4)2211



小中一貫交流の様子



平成14年に新築された校舎



地区と合同の運動会で披露します



ほかの学校との合同学習の様子



三角枠を使って植えました



梅ちぎり体験活動の様子

本校の特色ある教育活動として、保護者による読み聞かせ活動、種まきから収穫までを学ぶ米作り体験活動、梅ちぎり体験活動、学級園での野菜作りを通じた食育の推進、一人一運動による体力の保持・増進、伝統芸能「三尺棒踊り」の継承、緑の少年団活動、ICT教育(テレビ会議)

【小中一貫教育の取り組み】平成18年度からは、祁答院地域の4小学校1中学校で連携型の小中一貫教育に取り組んでいます。義務教育9年間を「4・3・2制」の教育段階に再構築し、「学びの連続性」と「交流の充実」を図りながら、中1ギャップ(生徒指導面や学力面の課題)の解消を目指しています。具体的には、中学校へのスムーズな接続のために教員の授業交流や児童・生徒の交流活動、小学校英語教育の充実、中学校区の特徴を生かした新教科「情報コミュニケーション」による児童・生徒の個性の伸長などの研究を推進しています。

創立139年 校訓「心豊かで たくましく」 蘭牟田小学校

「夢」と「自信」と「愛」を育てる学校に

豊 かな自然に囲まれ、希少なベッコウトンボが生息するラムサール条約登録地蘭牟田池のふもとに位置する蘭牟田小学校は、平成14年に新校舎が完成し、本年度創立139年を迎えました。現在、55人男子26人、女子29人の児童が学んでいます。

「心豊かでたくましく」を校訓とし、「心豊かで主体的に学び、心身共にたくましい蘭牟田つ子を育成すること」を教育目標に、「夢」と「自信」と「愛」を育てる教育活動を推進しています。

議システムの活用)などが挙げられます。PTAや校区の方々の協力をいただきながら、心豊かで、たくましい子どもの育成に教員と児童が一体となって頑張っています。



VOICE
のほら とよひろ
蘭牟田小学校 篠原 豊廣 校長

蘭牟田地区のそれぞれの集落には素晴らしい伝統芸能があります。平成14年に本校の新校舎が落成したのをきっかけに、途絶えていた伝統芸能を子どもたちに伝えようという話が出ました。現在では、5・6年生を中心に原自治会に伝わる三尺棒踊りを地元の方に指導を受けながら練習し、毎年運動会で披露し、郷土の伝統を引き継いでいます。

